



平成 23 年 6 月 14 日

報道関係各位

独立行政法人国立科学博物館

## 東日本大震災に関連する各種事業の実施について

国立科学博物館（台東区上野公園、館長：近藤 信司）におきましては、このたびの東日本大震災の発生とそれに起因する様々な問題に関して、国立の唯一の総合科学博物館として、当館の持つ標本資料の収集・保管、展示・学習支援という機能を活かした各種事業を実施いたします。これらの活動を通して被災地における被災標本の救済、社会における地震等に関する科学リテラシーの向上に貢献し、ひいては被災地復興のための一助になりたいと考えております。

つきましては、下記のとおり関連事業を実施いたしますのでお知らせします。

### 【実施（予定）事業】

1. 被災標本レスキュー活動
2. 特別展「恐竜博 2011」における東北地方応援企画
3. NEWS 展示「被災標本のレスキュー活動」
4. 地震・節電に関する学習支援活動
  - (1) 地震に関するディスカバリートーク
  - (2) 節電教育
    - ・「かぞくですまいの節電計画」  
～節電意識を高めながら科学リテラシーを養う
    - ・「かはく・たんけん教室」～節電に関する基礎的理解を図る
  - (3) ホットニュース「日本で起こる地震」
5. 夏休みサイエンススクエアにおける省エネ・防災関連企画

### 取材に関するお問い合わせ先

国立科学博物館 広報・サービス課 広報担当  
TEL 03-5814-9855・9858 FAX 03-5814-9898  
〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20  
E-mail: webmaster@kahaku.go.jp

イベント等の詳細については別添資料をご覧ください。

## 東日本大震災に関連する事業の概要

(各事業の色区分：

標本資料の保全
展 示
イベント

)

### 1. 被災標本レスキュー活動

今回の震災で被害を受けた標本について、各地の博物館等と協力しながら、当館の専門知識を有するスタッフが応急措置を施したり、一時保管するなどの対応を行っています。

#### 【受入標本（予定のものを含む）】

被災博物館	対象標本等	点数	対応状況
陸前高田市海と貝のミュージアム	ツチクジラ剥製標本(元科博の展示標本)	1 個体 体長 10m	初期救済手当は終了 一時保管場所については、現地と協議中
陸前高田市立博物館	植物押し葉標本 (海藻標本含む)	900 点	受入・修復済み 一時保管
	昆虫標本	標本箱約 200 箱	受入予定 他機関で修復後の標本を一時保管
山田町立鯨と海の科学館	海藻標本(主にワカメの押し葉標本)	45 点	受入・修復済み 一時保管
いわき市石炭・化石館	マストドン(ゾウ)下顎化石	1 点	夏休み前受入予定 一時保管
石巻文化センター	縄文～古墳時代の人骨標本等	32 箱	受入済み・修復作業中 一時保管

(標本レスキュー活動関係担当：標本資料センター長 窪寺 03-3364-2311(新宿分館) )

(活動の状況)



現地での人骨標本等の回収作業



現地でのツチクジラの状況



海藻標本の修復作業



実習生による植物標本の修復作業

## 2. 特別展「恐竜博 2011」における東北地方応援企画

東北地方は多くの重要化石を産出し、その地域の博物館は、古生物の調査研究の最前線でした。しかし、今回の震災で博物館も大きな被害を受けています。ここでは、東北地方で発見された最新の化石を展示し、東北地方の古生物学への貢献を紹介します。また、同時に標本レスキュー活動で修復した重要標本についても展示公開いたします。

【開催期間】平成23年7月2日（土）～10月2日（日）

【開催場所】国立科学博物館（東京・上野公園）「恐竜博 2011」第二会場

【展示構成】

第1部 「東北地方の最新化石で見る中生代爬虫類」

いわき石炭化石館等の東北地方の博物館や当館が所蔵する首長竜や魚竜などの東北地方産出の標本を展示します。

第2部 「博物館による標本レスキュー」

実際にレスキューされた標本を展示し、博物館同士のネットワークを活かした標本の保全活動を紹介します。

（展示担当：特別展室 持田 03-5814-9872）

## 3. NEWS 展示「被災標本のレスキュー活動」

東日本大震災で被災した博物館・科学館等の標本について、各地の博物館等によるレスキュー活動が始められています。当館も各分野の研究者がその活動に携わっており、その活動状況を紹介します。この展示については、活動の進展に伴い、段階的に展示を追加していきます。

【開催期間】平成23年6月下旬～年末までを予定

【開催場所】国立科学博物館（東京・上野公園）地球館1階

【展示構成】

第1部 「海藻標本のレスキュー活動」（6月下旬頃予定）

※山田町立鯨と海の科学館及び陸前高田市立博物館の所蔵標本

第2部 「押し葉標本の救済要請」（6月下旬頃予定）

※陸前高田市立博物館の所蔵標本

第3部 「人骨、骨角器、獣骨標本レスキュー」（7月上旬頃予定）

※石巻文化センターの所蔵標本

以後、活動の成果がまとまり次第順次公開します。

※展示の実施期間、内容等詳細については、後日、改めて資料配布を行うとともに、ホームページによりお知らせいたします。

（展示担当：研究推進課 内尾 03-3364-2311（新宿分館））

## 4. 地震・節電に関する学習支援活動

日本で起こる地震のメカニズムについて、展示場での研究員の解説やホームページを通じて正しい理解を図ります。また、「節電」をテーマに節電意識の普及とエネルギーに関する基礎的理解を図るための学習支援活動を実施します。

### 《地震に関するディスカバリートーク》

展示場で当館研究者による自然史・科学技術史に関する解説を行い、対話を通じた理解を促すプログラム。地震、津波、地層などを含む当館の研究分野に関する理解を深めます。

#### 【実施日】

平成 23 年 6 月 11 日（土）「日本列島と地震」 担当：地学研究部 横山一己（実施済み）

同 7 月 16 日（土）「地質構造と地震の「ゆれやすさ」との関係」

担当：地学研究部 堤 之恭

同 8 月 20 日（土）「地震学のはじまり（仮題）」 担当：理工学研究部 大迫正弘

※1日2回実施します。場所、時間等詳細は当館ホームページでご案内いたします。

<http://www.kahaku.go.jp/event/ueno.php?id=0001299221575234>

（担当：学習企画・調整課 橘川 03-5814-9876）

### 《節電教育① かぞくですまいの節電計画》

国立科学博物館が「科学リテラシー涵養活動」として開発してきたプログラムを活用し、節電意識を高め、科学リテラシーの向上を図るために、節電の方法とその工夫など、親子向けのプログラムを実施します。

【実施日時】平成 23 年 6 月 26 日（日）

（午前の部）10：30～12：30 （午後の部）14：00～16：00

【対 象】小～中学生の子どもと保護者 各部最大 20 組（事前申込要）

【参加費】子ども一人あたり 500 円（別途入館料が必要）

#### 【内 容】

1. 「すまいの節電あれこれ」
2. ①「照明活用術～照明も節電しよう！～」(保護者向け)  
②「エコライトをつくろう」(子ども向け)  
※2 では保護者と子どもは別のプログラムになります。

（詳細は下記 URL にて）

<http://www.kahaku.go.jp/event/all.php?date=20110626>

（担当：学習企画・調整課 土屋 03-5814-9190）

### 《節電教育② かはく・たんけん教室「みんなで節電計画！」》

節電意識を高め、科学リテラシーを涵養するため、節電の基礎的理解と日常的な課題に関する体験プログラムを実施予定。

【実施期間】平成 23 年 7 月 5 日（火）～9 月 4 日（日）

火～日曜日の 13 時～15 時に実施予定。

【対 象】平日：小学生～大人，土・日・祝日：小・中・高校生（当日受付）

【内 容】普段の生活でできる身近な「節電」について、クイズなどを通して楽しく学びます。（節電教育①の「かぞくですまいの節電計画」をベースとした内容）

（詳細は下記 URL にて）

<http://www.kahaku.go.jp/event/all.php?id=0001307088706013>

（担当：学習企画・調整課 土屋 03-5814-9190）



## 《ホットニュース「日本で起こる地震」》

ホットニュースは当館のホームページ上で、最新情報として話題となっている科学に関するニュースについて、当館の研究に関わるテーマから選び、紹介するコーナーです。普段難しく感じられがちな科学のニュースですが、この「ホットニュース」では、基礎的な内容を交え、読みやすい文体で紹介します。今回は、日本で起こる地震について、その発生のメカニズムや津波について解説しています。

○ホットニュース「日本で起こる地震」

<http://www.kahaku.go.jp/userguide/hotnews/index.php>

(担当：研究推進課 内尾 03-3364-2311 (新宿分館))

## 5. 夏休みサイエンススクエアにおける省エネ・防災関連企画

例年、大学、高専、学会等の外部機関と連携し、青少年を対象とする50を超える科学体験企画を行っていますが、今年はその中で省エネ・防災をテーマにした企画を行います。

(今年の実施予定企画)

- ☆「地球内部のなぞを探ろう！(地震・津波の発生メカニズム)」
- ☆「なぜなぜ地震・液状化」
- ☆「今こそ、発電について考えましょう！～電気を作るってたいへん～」
- ☆「エコ発電ものづくり教室」「地球に優しいクリーンエネルギー」等。

【開催期間】平成23年7月26日(火)～8月21日(日)

(月曜日閉室、ひとつの企画はおよそ3日間ずつ出展)

※各企画の実施期間、実施時間、参加方法等詳細については、後日、改めて資料配布を行うとともに、ホームページによりお知らせいたします。

(担当：連携協力課 原田 03-5814-9861)

(昨年の実施風景)

